令和９年度　第２次募集の選抜・評価方法

学校番号　市４
船橋市立船橋高等学校　全日制の課程　普通科

１　選抜資料

⑴ 調査書	中学校の校長から送付された調査書
⑵ 面接	受検者１名・評価者２名の個人面接　検査時間：１名３分
⑶ 作文	字数：５００字以上６００字以内　検査時間：５０分

２　評価項目及び評価基準

⑴ 調査書〔１５５点満点〕

アの数値に，イについて加点（上限２０点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評　価　基　準
ア　教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。
イ　特記事項	３級以上の英語検定について加点する。

⑵ 面接〔４０点満点〕

２名の評価者が，次の２つの評価項目ごとに，各評価基準に基づき，ｖ（極めて優れている）・ｓ（優れている）・ａ（良い）・ｂ（標準的である）・ｃ（問題がある）の５段階で評価する。ｖを１０点，ｓを８点，ａを５点，ｂを３点，ｃを１点とし，２名の評価者の評価（各２０点満点）を合計し，得点化する。

評価項目	評　価　基　準
ア　応答内容	本校普通科への志望動機，興味・関心がうかがえる。
イ　態度	意欲がうかがえる。面接の基本的作法ができている。

⑶ 作文〔４０点満点〕

２名の評価者が，次の２つの評価項目ごとに，各評価基準に基づき，ｖ（極めて優れている）・ｓ（優れている）・ａ（良い）・ｂ（標準的である）・ｃ（問題がある）の５段階で評価する。ｖを１０点，ｓを８点，ａを５点，ｂを３点，ｃを１点とし，２名の評価者の評価（各２０点満点）を合計し，得点化する。

評価項目	評　価　基　準
ア　字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。全体としてまとまりがある。
イ　内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。誤字や脱字がなく、文法を正しく用いている。

３　選抜方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ，選抜のための資料を慎重に審議しながら，第２次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点		面　接	作　文	総得点
評　定	加　点			
１３５点	２０点	４０点	４０点	２３５点

４　その他

過年度卒業者については，学校設定検査終了後，別途個人面談を行う。

令和９年度　第２次募集の選抜・評価方法

学校番号　市４
船橋市立船橋高等学校　全日制の課程　商業科

１　選抜資料

⑴ 調査書	中学校の校長から送付された調査書
⑵ 面接	受検者１名・評価者２名の個人面接　検査時間：１名３分
⑶ 作文	字数：５００字以上６００字以内　検査時間：５０分

２　評価項目及び評価基準

⑴ 調査書〔１５５点満点〕

アの数値に，イについて加点（上限２０点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評　価　基　準
ア　教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。
イ　特記事項	３級以上の検定試験(簿記，珠算，情報処理，英語)について加点する。

⑵ 面接〔４０点満点〕

２名の評価者が，次の２つの評価項目ごとに，各評価基準に基づき，ｖ（極めて優れている）・ｓ（優れている）・ａ（良い）・ｂ（標準的である）・ｃ（問題がある）の５段階で評価する。ｖを１０点，ｓを８点，ａを５点，ｂを３点，ｃを１点とし，２名の評価者の評価（各２０点満点）を合計し，得点化する。

評価項目	評　価　基　準
ア　応答内容	本校商業科への志望動機，興味・関心がうかがえる。
イ　態度	意欲がうかがえる。面接の基本的作法ができている。

⑶ 作文〔４０点満点〕

２名の評価者が，次の２つの評価項目ごとに，各評価基準に基づき，ｖ（極めて優れている）・ｓ（優れている）・ａ（良い）・ｂ（標準的である）・ｃ（問題がある）の５段階で評価する。ｖを１０点，ｓを８点，ａを５点，ｂを３点，ｃを１点とし，２名の評価者の評価（各２０点満点）を合計し，得点化する。

評価項目	評　価　基　準
ア　字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。全体としてまとまりがある。
イ　内容・文章表現	与えられたテーマに対して内容が適切である。誤字や脱字がなく、文法を正しく用いている。

３　選抜方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「作文の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ，選抜のための資料を慎重に審議しながら，原則として第２次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点		面　接	作　文	総得点
評　定	加　点			
１３５点	２０点	４０点	４０点	２３５点

４　その他

過年度卒業者については，学校設定検査終了後，別途個人面談を行う。

令和９年度　第２次募集の選抜・評価方法

学校番号　市４
船橋市立船橋高等学校　全日制の課程　体育科

１　選抜資料

⑴ 調査書	中学校の校長から送付された調査書
⑵ 面接	受検者１名・評価者２名の個人面接　検査時間：１名３分
⑶ 適性検査	運動の基礎的な検査　検査時間：５～１０分程度

２　評価項目及び評価基準

⑴ 調査書〔１３５点満点〕

評価項目	評　価　基　準
教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値で評価する。

⑵ 面接〔４０点満点〕

２名の評価者が，次の２つの評価項目ごとに，各評価基準に基づき，ｖ（極めて優れている）・ｓ（優れている）・ａ（良い）・ｂ（標準的である）・ｃ（問題がある）の５段階で評価する。ｖを１０点，ｓを８点，ａを５点，ｂを３点，ｃを１点とし，２名の評価者の評価（各２０点満点）を合計し，得点化する。

評価項目	評　価　基　準
ア　応答内容	本校体育科への志望動機，興味・関心がうかがえる。
イ　態度	意欲がうかがえる。面接の基本的作法ができている。

⑶ 適性検査〔４０点満点〕

各種目を測定し，男女別に評価する。

評価項目	評　価　基　準
基礎的な運動能力	基礎的な運動能力を身に付けている。

３　選抜方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「適性検査の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ，選抜のための資料を慎重に審議しながら，第２次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

＜総得点の満点の内訳＞

調査書の得点 評　定	面　接	適性検査	総得点
１３５点	４０点	４０点	２１５点

４　その他

過年度卒業者については，学校設定検査終了後，別途個人面談を行う。